福井の未来

3月16日、いよいよ
北陸新幹線が県内に開業します。
その開業効果の最大化と
効果の持続を見据え、
政財界、スポーツ関係者、
街づくりの専門家などが集結。
オンラインを含め約1300人が聴講し、
福井の持続可能な街づくりや
地方経済の活性化について議論しました。

■開催日時 2023年11月27日(月)
■開催場所 フェニックス・プラザ 大ホール

日経 地方創生フォーラム in 福井

共催 福井新聞社

企業講演

アロック・サンワ 代表取締役社長 石橋智洋氏

小さなエネルギーで豊かな住環境をつくる
——建材商社が挑む持続可能な街づくり——

シックハウスなどで知られる日本では、注目の潮流などを「ヒートショック」の死亡者数が、年間1万7千人かそれ以上にのぼるとされています。加えて、本格的な少子化・家の中の環境悪化による長寿化の変化であり、「無縁社会」が急増です。

その思いは、数年前に環境を配慮するライフを始めたことを機となりました。ドイツでは、「家でも家でも、家は快適な環境と安全が保たれているのが当たり前」なのです。

現在、当社では子育て世代・住宅会社・自治体を巻き込んでの、「無縁社会」に対しても、地域のコミュニティ作りをつくっています。高齢者や子育てを支援する施設が建っていれば、「お年寄りの方がいや他の連結を保持する」企業として、皆さまとともに地域づくりを応援していきたいと思います。

パネルディスカッション

福井のウェル・ビーイングとSDGs——持続可能な街づくりを目指して——

＊パネリスト
髙橋美保氏 福井県総合政策部長
石橋智洋氏 アロック・サンワ 代表取締役社長
華房聖樹氏 ヴィアトール 代表取締役社長
山浦光一郎氏 福井新聞社 社長
＊コーディネーター
芝山さゆりさん ヴィアトール 代表取締役社長

健康や幸せ実感を大切にした、福井の持続可能な街づくり。

芝山 皆さん、笑顔がすごいというキャッチフレーズを使っていますが、そのすごさを教えてもらえますか？

髙橋 何ということもすごいのは、16年連続幸福度日本一であることです。その幸福の中身を説明すると、「しあわせのもと」「つながり」「安全」「自然環境や文化の豊かさ」「子育て・海や山・自然環境」などが三項目が近くにあるというつながりで三世代同居、地域のつながりで「せいかつ」、持ち家率の高さ、介護の家族の強さなどにまとめられます。

石橋 福井へ「ターン」移住しましたが、福井のすごさは女性ではないでしょうか。結婚しても仕事を続けたいという方が多いと思います。その一方で、女性の家事負担が多く、住宅にまつわる企業として暮らし方を提案していかなければと思っています。

髙橋 その女性の家事負担を軽減し、男性の家事参加を促進するため、県では「共家事」ともかじ（）プロジェクトをスタートさせたところです。

これまでも「ママ目線」と称して、子育て支援や環境づくりに力を入れています。「産外から移住された女性からは「医療費無料はもちろん、その日のうちに産後ケア事業のサービスを受けることができた」「近所のスタッフも「大きくなったねぇ」とともを見守ってくれる」などの声をいただいています。「ふく育児」をブランド化し、移住促進にもつなげていきたいと考えています。

山浦 福井の教育レベルの高さは、県外にも認知されています。それは単に学力だけでなく、「考えさせる力」にあるというのが、福井で育ち学んできた私の実感です。先生の質を高く、新しい取り組みにも積極的で「クラブとして授業を実践してくれています」。この福井の教育力を、もっと県外にアピールしていかなくてはと思っています。

芝山 では、持続可能な街づくりを進めている、北海道ニセコの事例を挙げながら話を進めていきましょう。

髙橋 ご存じとは思いますが、ニセコ町から「SDGs未来都市モデル事業の一環として、ゆるい人間関係の大きな力を」という要請を受けました。

それが「高性能集合住宅の街」です。冷暖房の熱をとり流けにくい集合住宅の特性を生かし、上水道で2万3千円前後と最小限の光熱費で、暮らしでも温度差のない、快適な暮らしを一年中お届けします。

ニセコのプロジェクトでは、当社が基本構想・基本計画を、地元の建設会社さんが施工を担当することで、地域内に資金を循環することを図っています。7年ぐらい前から始まったばかりですが、こうした持続可能な街づくりを福井でも検討されてはいかがかと思います。

山浦 私もニセコの視察をしましたが、雪国や学校周辺が快適になるとともに、子どもたちにとっても集中して学べるというメリットがあると思いました。福井も子育てや教育の取り組みの一環として、こうした街づくりを検討していきたいですね。

石橋 講演でお話ししたドイツ、そしてニセコ町はどちらも、冬の寒さや積雪など厳しい自然環境と似ているところがあります。そのうえで、福井らしさを大切にした住まいづくりや街づくりが必要だと思っています。2世代・3世代の良好なコミュニケーションが図れ、幸福度日本一をいつまでも実感できる街づくりを前提に、高性能住宅を選択していきたいですね。

芝山 人間の暮らしには住宅だけでなく、街やコミュニティが大切です。子育てや高齢者の施設が近くにあり、三世代の交流が自然に図られるという、石橋さんが取り組もうとしている福井の街づくりに期待したいと思います。